

大項目	目標	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標 (アンケート回答率 87%)	成果評価
プラン6 学校・家庭・地域が一体となつてともに進める教育	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4: 月1回以上更新した。	4	4 : 生徒学校評価(19)、生徒生活アンケート(5, 6)、保護者学校評価(17, 22~25)の平均が90%以上	3
			3: 学期に2~3回更新した。			
			2: 学期1回以上更新した。			
			1: 更新しなかった。			
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	4: 毎回情報を提供した。	3	3 : 生徒学校評価(19)、生徒生活アンケート(5, 6)、保護者学校評価(17, 22~25)の平均が80%以上	
			3: おおむね情報を提供した。			
			2: あまり情報を提供しなかった。			
			1: 情報を提供しなかった。			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。	4: 学期に2~3回行った。	4	4 : 生徒学校評価(19)、生徒生活アンケート(5, 6)、保護者学校評価(17, 22~25)の平均が60%以上	
			3: 学期1回以上行った			
			2: 年1回以上行った。			
			1: 実施しなかった。			
		駅前の花壇整備、まちなか点検、学校防災訓練等の地域と連携した教育実践を実施する。	4: 月1回以上行った。	4	1 : 生徒学校評価(19)、生徒生活アンケート(5, 6)、保護者学校評価(17, 22~25)の平均が60%未満	
			3: 学期に2~3回行った。			
			2: 学期1回以上行った。			
			1: 実施できなかった。			

これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄	
	評価	コメント
<p>学校支援地域本部との連携により、防災教育や環境教育におけるボランティア活動を中心に、感染症対策を講じつつ地域との関わりを深め、学校支援地域本部事業が企画するボランティアへの参加を促した。</p> <p>関連する学校自己評価の成果指標(昨年度 82.7%)は 83.5%で昨年度より 0.8 ポイント上昇しているが目標には届かなかった。調査項目の中で生徒学校評価「私は、地域行事やボランティアに積極的に参加している」が 67.7%(昨年度 62.6%)と特に低い。昨年度よりは 5.1 ポイント有意に上昇している。引き続き啓発に努めたい。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部と学校の連携がよくとれていると感じました。また生徒が「ボランティアに積極的に参加している」と回答した割合が低いようですが、昨年度よりは上昇しています。友人同士で声を掛け合ってボランティアの輪が広がっていったらと思っています。 ・シビック・アクションの活動で、地域とのつながりがより強いものになっていると感じます。 ・保護者や保護者OBによるボランティア活動(学校お助け隊)への参加者が大変多く、生徒たちも大人のボランティア活動を各所で見ています。幅広い世代の方が関わっていくボランティア活動を今後も途切れさせないよう応援したいと思います。 ・保護者学校評価項目の22, 25については配布物が子供から保護者の手に渡らないため伝わっていない事も考えられます。コロナ禍で公開が難しかった行事などが参観できるようになり、その機会を学校が作ってくれているのは良い点だと思います。 ・地域教育連絡協議会においては、毎回とても丁寧に情報提供をいただいていると思っています。今回の生徒・保護者アンケートのまとめもとてもわかりやすく参考になりました。 ・地域教育連絡協議会に参加させていただき、行事等を通し学校の様子や情報、生徒の様子を知ることができ、とてもよかったです。 ・コミュニティスクールの移行に伴い、より強い責任感を求められていくと自覚しています。 ・継続的に取り組まれているボランティア活動がすばらしいと思います。 ・地域教育連絡協議会などによる学校公開、地域の方々と連携した学習やボランティア活動など、地域における六中の情報発信や期待される役割を果たすことができていると感じます。地域行事やボランティア活動への生徒の参加についてはコロナ禍で活動が自粛されたことも影響していると思います。また、土日の活動となると部活動と重なる生徒も多いと思うので、ボランティアに参加しやすい雰囲気づくりも必要かと考えます。 ・地域との関わり、活動の成果は大いに評価したい！六中生がんばれ！ ・防災教育のまちなか点検はでは、自分達の住む地域を防災の視点で町会の住民と共にまわり、お互いに防災意識を高めることが出来、情報を共有できている地域の中学生を応援していきたい。駅前花壇の整備では、寒い日、暑い日でも一生懸命花壇をきれいにつくっている様子を見せていただきうれしく感動しています。花壇の前を通る時、六中生の姿が思い浮かびます。 ・学校の広報活動でホームページが活用され、更新も多く見応えがあり、よいと思う。生徒学校評価の「地域行事…」については、地域から生徒にどの位のことをボランティアでお願いしても良いかわからず、学校からの協力要請に対応することが多い。今後は地域と学校と協働していくので、何が出来るようになるか楽しみである。令和6年度よりPTAの会員もボランティア形式になるので、学校支援地域本部(6年度から地域学校協働本部)の学校お助け隊とのすみ分けをわかるようにしたい。 ・ボランティア活動は心を豊かにするには一番と考えます。
	10	
	B	
	4	
C		
0		
D		
0		

A : 自己評価は適切である
B : 自己評価はおおむね適切である
C : 自己評価は適切ではない
D : 評価は不可能である